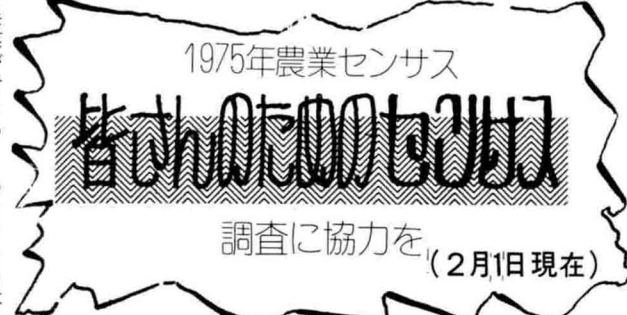


二月一日現在で五年毎に行われる「農業センサス」が実施されます。センサスとは、一般に「統計調査」という意味に使われている統計用語です。農業センサスは、農業の国勢調査ともいわれるもので、全国のすべての農家を対象に行われるものです。日本の農業は、稲作をはじめ、果樹や野菜も畜産もそれぞれいろいろな悩みや問題をかかえています。こうした問題に対処するための対策をたてるのに、第一に必要なことは、農業の現状をはつきり知り、どの地域でどのような農業が行なわれているか、またどう変わっているのかを明らかにすることです。一九七五年農業センサスは、まさにこのような農業の姿をできるだけ正確にとらえるために、行なうものです。

お父さん村を見直すセンサスよ



農業の経営規模、作付けの状況、収入の程度など農業に関するあらゆる項目について調査が実施され、国や県、市町村でいろいろな計画を立てたり、農業構造改善などを行なうためになくはない大切な資料となります。

二月一日前後には調査員がお伺いして、おたたくの農業のことをお聞きします。のでよろしくお願います。農業経営の細かい点についておたずねします。が、お聞きした点は個人の秘密として法律で厳重に守られます。絶対税金などのために使われることはありませんので、安心してお答えくださるようお願いいたします。

豊かな農業あと押すセンサス

農業センサスは企画課で担当しています。お問い合わせはお気軽に……

耕運機の軽油は 免除申請で安く

春季農耕用に軽油を使用する耕運機については、申請により軽油引取税が免除になります。つぎの日時に手続きをしてください。

日時	場所
2月8日 午前 中之島 上通 午後 中通 中野	公民館2階大広間 当日持参するもの
2月9日 午前 中条 西所 午後 信条 三沼	

第1回 村民作品展開催
2/21~2/25

会場 中之島村公民館
種目 書道、日本画、洋画
写真(白黒・カラー)
題材・大きさは自由
くわしいことは公民館へ
TEL 6-3242

昭和50年度 優良無事故運転者を表彰

原付、小特、二輪および軽免許で「審査未済」の備考欄記入の免許を有するもの。そして、普通免許以上の免許を有する無事故無処分の方の会員運転者を対象に表彰します。

- (1)表彰年限 免許取得後7年、15年、25年、30年の区分とし、その間継続して運転に従事している会員。
- (2)表彰年限は昭和49年12月31日現在とし、原則として免許取得年月日から起算する。

該当すると思われる方は、昭和50年1月31日まで見附地区交通安全協会窓口へ申し出てください。(会員とは見附地区交安協会をいう)

停電のお知らせ
1月31日◎
長呂、島田、関根
AM9:30~PM2:30

1月1日現在
()内は12月1日との比較

人口	11,398人 (+6)
男	5,571人 (+2)
女	5,827人 (+4)
世帯数	2,181 (-)

12月号の10ページ、旅館、飲食店の受取りは必ず「公給領収証」で ◎旅館での宿泊料金は1人様1,800円とあるのは2,400円 ◎飲食店は1人900円とあるのは1,200円 ◎仕出し料理は1人前1,000円とあるのは1,200円の誤りでしたので訂正してお詫びいたします。

「広報なかのしま」も今回で第20号の発行となりました。みなさんと村政のパイプ役として役立つよう頑張っておりますが、まだまだいたらない点もありますが今年もどうぞよろしくお願いいたします。また、みなさんからのご意見、ご希望がありましたら原稿を係へてお願いいたします。また、広報用写真として適当なものがありましたらお送りください

今月の納税 ▽村民税(第4期分) ▽保育料(1月分)



新春を迎えて



中之島村長 斎藤恭三

村民の皆さん、明けましておめでとございます。皆さんのご協力によりまして村政は極めて順調に進展しております。これまでしばしば申し上げてまいりましたが、私は更に村民の生活安定に最大の目標をおき村の懸案事項である、高速自動車道路や上越新幹線並びに長岡見附バイパスの早期実現の促進に努力いたしてまいりましたが、その中で見附バイパスが立派に完成し、昨年十二月二十五日に供用開始となり、一般車の通行が可能になり、本村を縦貫する国道八号線の交通緩和に大きく前進いたしましたことはご存じのとおりであります。また、内政面としましては継続中の事業にも意欲的に取り組み、とくに小学校統合の結審から校舎の位置が議決されましたことはご承知の通りであります。これが執行にあたりましては、本多少の問題はあるとしても、本年は用地買収、造成など、これまで大きな問題が山積いたしてありますが、もちろん短年度で完成できるものではありません。政府は高度から安定へ経済成長の進路を変え、昨年に引き続き総需要抑制、節約ムードのなか、いろいろ困難な問題も出まじつくり腰を据えてぜひ実現させる覚悟であります。皆さんもそのつもりで焦ることなく、長い目でご支援ご協力をいただきたいと思います。物価安定策としての総需要抑制策が浸透していくにつれ、今後の厳しい経済情勢の推移を十分注意し生活関連施設等の整備、教育、社会福祉制度の充実の促進に積極的に取り組み、産業関係などにも細かき心遣いが大切かと思っております。そして明るく、住みよい豊かな中之島村の輝く明日の姿を頭に描きながら皆さんと一緒に力強く進む決心であります。今年もはるの年ですから、せいぜい瑞兆といわれる宛にあやかるよう、皆さんのご健康とご繁栄を心からお祈りいたしまして新年のごあいさついたします。

年頭のごあいさつ

中之島村議会議長 山崎孝一



明けましておめでとうござい
ます。
村民の皆様お揃いで日々好天
に恵まれた新春を迎えられそれ
ぞれの目標と希望に向って想い
を新たにされていることと思
います。
さて昨年に引き続ききんばく
した経済事情の中で多くの問題
をかかえながら昭和五十年代の
幕があいたわけでありませぬ。
国の総需要抑制策は私達農村
地域にも浸透し出稼ぎで支えて
いる農家の暮しも本年は不景気
で求人激減し働らきたくとも
職場がないという現実に直面し
つつありまことに厳しい年とな
りそうでありませぬ。
御承知のように町村行政は住
民の暮しのなかにも出し出して
いる問題を探りあげ集約しそれ
にどう対応して行くかが最大の
課題であるわけでありませぬ。
現在本村が直面しておる課題

はまさに無数にあるといつてよ
いの中で当面とくに重要な
ものを摘記すれば、
1、小学校統合校舎の建設。
2、用水整備事業。
3、農協統合。
4、産業振興。
5、市街化区域並びに農村地
域の環境整備。等でありま
す。限られた村財政の中でこれ
らの事業を遂行して行くにはな
かなか大変であり又住民各位の
ご協力がなければできないので
あります。
議会は常に村民全体の声を真
正に表現するものでなければな
らないと考えており、そのため
には議員一同、村民との間に緊
密な連絡と信頼関係に立つ対話
の中で、村民一人ひとりの暮し
を高める施策をみいだし行き
たいと念願しており、その責任
はいよいよ重大であることを痛
感いたしておる次第であります。
旧年中のご厚情に対しまして
心より御礼申し上げますとともに
本年もなお一層の御支援と御協
力を賜りますようお願い申上
げまして年頭のご挨拶といたし
ます。

12月定例会 村独自の中小企業 振興資金を設置

補正額は1億1,653万円

村議会の12月定例会は12月17日か
ら21日までの5日間にわたって開か
れました。この議会に提案された議
案は、補正予算や関係条例、各会計
の歳入歳出決算など村長提出議案9
件であり、いずれも原案どおり可決
されました。そのあらましについて
お知らせします。

補正予算
●昭和49年度中之島村一般会計補正
予算について
補正額は1億1,653万円を追加し、
総額で9億6,687万円としました。
主な補正内容はつぎのとおりです。
総務費
役場庁舎駐車場敷地購入費として
1,256万円。

商工費
村内中小企業不況対策の一環とし
て「中之島村中小企業振興資金」を
設置。これに500万円
土木費
降雪期を迎え、本年度は除雪延長
57キロメートルを確保するための除
雪費350万円。村道補修用砂利購入
費126万円。
そのほかに、鉄道建設公団道路受
託事業費に1,835万円。
●昭和49年度中之島村国保特別会計
補正予算について
補正額は709万5千円を追加し、
総額で2億5,704万9千円としまし
た。
●昭和48年度療養給付費国庫負
担金返還金に416万7千円。

- 昭和48年度中之島村各会計歳入歳
出決算の認定
内容については12月号広報なかの
しまをご覧ください。
- 固定資産評価審査委員の選任につ
いて
固定資産評価審査委員の任期満了
に伴い大字真野代新田間島三吉(6)
さんの選任について議会の同意を求め
たものです。
請願
- 農道改良事業費に対する助成方請
願について(継審中) 採 択
- 村道大口～大曲戸線抜巾に関する
請願について(継審中) 採 択
- 村道整備促進に関する請願につ
いて(継審中) 採 択
- 中条東生活改善センター建設費に
関する請願について(継審中)採 択
- 大口部落縦貫道路抜巾工事に
関する請願について(継審中)
継続審査中
- 県営用排水施設整備(中之島地区)
事業に関する請願について(継審中)
継続審査中
- 農道改良工事費に関する助成方請
願について 継続審査中

豊かな暮らしの 都市や農山漁村を

国土利用計画法は地価の安定
と国土の計画的な利用をはかる
土地対策の基本となる法律で、
十二月二十四日から施行されま
した。
この法律は、健康で文化的な

法律を支える 三本の柱と特徴

1 国土の計画的な利用を図
るため、そのもとになる
国土利用計画を定めるとともに、
その計画に基づいて土地の使い
方の混乱を防ぎ、正しく望まし
い土地利用を進めるため土地利
用基本計画を定め、これに従っ
て土地利用が図られること。

2 急激な地価の値上がりや
防止するとともに、正し
く望ましい土地利用を図るため、
土地の取引を規制すること。

3 遊んでいる土地を公共の
福祉優先の立場から積極
的に活用するための手続きを定
めたこと。

定められた広さ以上の土
地取引は届出が必要
定められた広さ以上の土地の
売買などの契約(予約のとき、
また代金を払って使ったり、借
りるときも同じ)をするときは、
売る人も買う人(貸借する人も
同じ)も、土地の売買などの子
定価格や利用目的を書いた届出
書を市町村長を通して県知事に
出さなくてはなりません。

土地取引が行われる場合、
届出が必要な面積は、市街化区
域では二、〇〇〇平方メートル以上、そ
の他都市計画区域では五、〇〇〇

平方メートル以上、都市計画区域外の
ところでは一、〇〇〇平方メ
ートル以上の取引きとされています。
なお、届出をしないで土地売
買などの契約をしたり、偽りの
届出をしたりした場合は六ヶ月
以下の徴役または三〇万円以下
の罰金に処せられますから注意
してください。

土地取引に許可が
必要な場合も
将来の値上がりを期待して土
地取引が盛んに行われるとか、
地価の値上がり激しくなると
か、または、その危険性がある
ような地域については県知事は
抜き打ち的に区域及び期間を指
定し、すべての土地取引につ
いて県知事の許可を必要とする
地域(規制区域という)を定め
ることが出来ます。

この規制区域が定められます
と、この区域内で土地の売買な
どの契約をするときは、届出と
同じ内容を記載した許可申請書
を市町村長を通して、県知事に
出し、許可を受けなければなら
なくなります。

なお、このほか土地取引が
行われ、使われないで遊んでい
る土地について正しく役立っ
よう土地利用を進めることが定
められています。
くわしいことは役場企画課に
おたずねください。

中小企業向けに独自の融資

オイルショックやインフレで資金繰りが圧迫されて
いる中小企業者に対して村単独でその運転資金の特別
融資を行っています。

村単独の中小企業振興資金は県下で初めてのもので、
金融機関の協調分1,500万円を含め、総ワクは2千万
円となっています。おおいに利用してください。

融資対象
村内で1年以上居住し、事業所または店舗を
有する中小企業者であって、村商工会の経営
指導を受け、村税を完納しているもの。

- 融資の条件**
- *用途 運転資金
 - *融資限度 100万円
 - *融資期間 1年以内(内据置3ヵ月以内)
 - *利率 年8.0%
- この資金の融資を受けようとする者は、別に定める
借入申込書に経営状況書を添えて中之島村地方産育
成資金融資委員会(産業課)に提出してください。

おおいに利用しよう
中小企業振興資金



農業をもっと真剣に

山崎一弥さん(28)
西野 農業

畜産もやっていますが、価格の面やえさ代の高騰で採算がとれないので、今年も稲作に主眼をおいてやっています。今の農家はこれでよいのだろうかと思えます。うまい米づくり、多収種、米生産調整と目まぐるしく変った農政は、農業経営を大きく変え農閑期ともなると、われ先にと他産業へ走り、農業はかたてまに二の次。

世界でも食糧危機がさげばれてる現状です。農業についても真剣に考えていってほしいです。今年も、正直者がバカをみないそんな年であってほしい。

無駄のない生活を

田島恵智さん(49)
西高山 主婦



昨年はオイルショックやインフレで生産者及び消費者である私達にとっては、一段ときびしい年でした。私たちの身のまわりが急速に発展したのも、あまりにも物の豊かさを追求しすぎたためではないでしょうか。

また、この辺で今のくらしかたや風習を考へてみる必要があると思います。私達の部落でも古い習慣から抜け出そうと、冠婚葬祭の生活改善を行い成果をあげています。

村への要望は、生活環境の整備を行い近代的な村の習慣をつくり、一人でも無駄のない生活が送られる、健康で明るい豊かな村づくりを進めてもらいたい。

煎餅の包装の宝物

真野与兵衛さん(83)
宮内 無職



友あり遠方より来る 氏ハ良食煎餅師と詩書を懐へたり 兼て茶が湯を汲む日焼餅を聴いて余余念をす 煎餅ハ鍋蓋の如く焼印ハ良食の愛を伝へて 別々ニ二三焦炭の徒にいろはハ煎餅の良食に天上大凡は煎餅ハ自然法示す各餅に獨り独り味を齎す 刃の木佛袋ニ等々 釜を煮て 味噌汁 身は神衣心は錦に包む 鳴呼良食良食 近代の煎餅をまじり 氏の言より日古の煎餅に於ては 煎餅の老屋塔しと珍なる 亦亦ハ煎餅師 良食の遺徳たる 字々金我ハ高嶺の花也 今煎餅の包紙を日記ニ記し 後々の宝とせん 昭和五十年 瑞穂 八十五歳 真野与兵衛老人 書初めや良食様の 弟子とす 二三の 手習とせん (原文のまま)

自分自身の判断で

梅沢るみ子さん(11)
島田 中通小六年



今まで、父母や先生方の指導のもとで行動してきたので、何のあやまちもなく進んできました。でも今年からは中学生になります。六年間に習ったことを土台に自分自身の判断で間違いないようにすすみたい。

中通線を県道にしたらいいのですが、登下校時にはほりやどろ水の毎日です。一日も早くアスファルト舗装にしてください。四月からは自転車通学になりますが、道路が狭く対向車がくるとヒヤッとすることがあります。道路幅員も広げてください。

村の未来像は、事故のない、発展性のある村になると思います。



仕事に生きがい

大竹陽さん(44)
中之島 公務員

骨肉相争う殺傷事件、企業の無責任な公害による自然破壊、絶え間ない交通戦争による犠牲者など、毎日の新聞を開くと必らず目に飛びこんでくる暗いニュースです。

この世に生を受けた限り、だれでも健康な生活を送る権利があるはず。これが心ない人達のために奪われていくのを見ると怒りがこみあげてきます。

私は年頭にあたり、自分の仕事でささやかながらも社会に貢献しているという「生きがい」を持ち続け、人間性が尊重される住み良い社会のくる日を、一日も早く念じて、今年も仕事に家事に精一杯の努力をしたいと思います。

中之島村の...



私の町 (昭和50年)

石油危機やインフレで明け暮れた昭和49年。明けて50年はどんな年になるでしょうか。ぜひ明るい一年であってほしいですね。

年の始めにあたり、10人の方々から今年の抱負や希望、村に望むこと、そして中之島村の未来像といったものを、ひとことずつ寄せていただきました。

さて、あなたにとって今年は何……。

生活内容に充実を

横山英晴くん(14)
中条 北中二年



今年も二年生をしめくくり、三年生になることから来年にも備えなければならぬ年でもある。そのため、生活内容を充実したものにしたい。学習面はもちろん、続けてきた剣道も頑張りたい。

村に望むことは、学校の不良か所の早期改善、通学路の安全を図るため、中条バイパスの早急の開通です。

村の未来像としては、見附・長岡東バイパスそれに高速自動車道、新幹線が建設され、村のようすや生活はよいふんと変わるでしょうが、村の良い伝統や行事それに美しい自然を残した村であってほしい。



希望のもてる村づくりを

田中敏文さん(22)
中新第一 村青年団長

オイルショックが始まったインフレ不況の波が押し寄せている中で、青年の夢や希望がなかなか実現しにくくなっています。次代をになう青年が希望の持てる仕事をしたり、地域社会をつくることは、将来が明るく豊かなものになるかどうかの分かれ道です。

そのために、「青年に希望のもてる村づくり」を要望したいのです。農業を始め中小企業の経営と生活を守り、そして、スポーツ、文化施設の充実を図ってほしいです。

私たち青年団も、この実現に活動して行くつもりです。また、村内の全青年が青年団に結集されることを願っています。

すべてに前向きで

池田政子さん(21)
福原 会社員



すべてに前向きな姿勢です。むことです。こんな乱れた世の中です。私なりに一日一日を大切に充実したものにしたいですね。そして、自分に許された範囲内で最上になり、誠実に人を愛していきたいと思っています。

青年学級で佐渡の青年と交流会をしたときの会場がすばらしい施設なのに驚きました。現在公民館を利用してありますが、村にも宿泊施設を備えた文化施設やレクリエーション施設をぜひ建設して欲しいです。

公害のないペットタウンに

小林克治さん(33)
中之島 呉服店主



今年の経済情勢は、昨年にも増して厳しい年になりそうですが、背のびせず一歩一歩着実に歩んでいきたいですね。わたしは商人は常に「報恩感謝」の念を持ち、誠実な商いをしたいものです。

仏法に「蔵の財よりも身の財、すぐれた身の財よりも心の財第一なり」という言葉がありますが、今年も個人でも村においても、己を振り返り反省するよい機会かと思えます。

そこで村に対して、「心を豊かにし、身体を健康にする運動」を提唱します。具体的には、村民大学講座の開設、村総合体育館の建設などです。

また、一日も早く都市計画を実行に移し、「公害のない、緑り豊かなペットタウン中之島」の建設を望みます。

定着できる政策を

小坂井幸江さん(17)
押切恵川 高校3年



もうすぐ卒業です。学生気分もぬけられないうちに社会に出ていかなければなりません。社会に出たら、自分の仕事は自分でキチンとやっていきたいですね。まわりの人に言われたり、迷惑をかけない大人になりたい。

村への要望は、私たち若者が村にもっと関心を寄せ、定着できるような政策をとって欲しいことです。卒業期になると、我も我もと村外、県外へ出て行きます。若者をひきつける魅力が故郷にみいだして欲しい。

たばこは村内で買しましょう

飲んだら乗るな、乗るなら飲むな —— 飲酒運転追放 ——